

「小説労働組合」訴訟第1回口答弁論 松崎さん、JR東労組千葉委員長が意見陳述

2月16日、東京地方裁判所においてJR総連元委員長であった福原福太郎氏が発刊した「小説労働組合」に対し、名誉毀損として損害賠償460万円と発行差し止めを求めてJR総連、JR東労組、松崎さんの三者が訴えていた裁判の第1回口答弁論が行われました。

今回の弁論では、松崎さんとJR東労組千葉委員長が意見陳述を行い、松崎さんは「私をテロリスト、過激派に仕立てあげてを意図した悪質な中傷であり、権力の弾圧を引き出すものである」、また千葉委員長は「小説労働組合は、JR東労組を潰す事を目的としている公安警察と悪質ジャーナリストと同じであり、名誉毀損だけではなく団結を破壊するものである」として公平な審理を訴えました。しかし被告である

福原氏はもとより弁護士も出廷しませんでした。裁判後報告集会が開催されました。

次回口答弁論は、4月22日13時10分からです。



**JR総連・JR東労組への組織破壊攻撃を
組織の団結をもって断固粉碎しよう！**